

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、活動方法を見直すなどして取り組んでいる事例をご紹介します！

横浜市地域訓練会 グループスヌーピー

グループスヌーピーは、「人とつながり・地域で育つ」ことを大切に
した重度の肢体不自由と知的発達遅滞の重複障害がある子どもたちの
会です。子どもたちが楽しみながら多くの体験ができるよう、音楽療法や
ヘアカットなどを実施しており、区外からも多くの親子が参加しています。

新型コロナウイルス感染予防のため、参加者を分散するなど工夫しながら、
地域ケアプラザや地域活動ホームなどで対面の開催を継続して
います。

参加者からは、「子どもたちは家庭や学校では得られない経験をして



音楽療法

いる」「親同士のつながりもでき、気軽に相談できるのがありがたい」「きょう
だい児も一緒に参加できるので、交流
できるのは嬉しい」などの声が聞かれています。
活動を支えているボランティアも募集しており、
地域の中で重症心身障害児のために活動する輪
がさらに広がることが期待されています。



ヘアカット



ホームページは
こちら

配食ボランティアグループ さくら会

さくら会は、片倉・神大寺・三枚町のエリアで、65歳以上のひとり暮らしや夫婦を対象に、温かい
手作り弁当の配食をしながら見守り活動を行っている団体です。栄養満点なメニューづくりや食材
調達も全て自分たちで行い、毎週木曜日に1食500円(食材費・ガソリン代等)で提供しています。

ボランティアスタッフからは、「お弁当を食べて美味しいと言ってもらえるのは嬉しい」「スタッフ
同士の仲が良く、活動が楽しい」などの声があがっています。

新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、お弁当を待っている利用者のために、感染
対策に気をつけながら、活動を継続しています。さくら会の活動が始まって20年以上たちますが、
これからも喜んでくれるお顔を想いながら、美味しいお弁当を届けていきます。



地域ケアプラザの調理室で
約40食をつくります



彩りよく盛り付けます



出来たてを
温かいままお届け！

他の活動紹介は
こちら

1人の100歩より 100人の1歩

